

## 1 目的

市内関係病院の地域連携担当者（相談員，看護師等）と在宅医療との連携および推進についての意見交換を実施し，課題の共有と対応策の検討を図る

## 2 出席者（合計29名）

病院連携担当者13名，地域包括支援センター10名  
柏市（地域医療推進課，地域包括支援課）

## 3 実施日時

平成31年1月30日（水）14:00～15:40  
柏地域医療連携センター研修室にて

## 4 内容

### ①報告

柏地域医療連携センターの相談状況，地域包括支援センター相談状況  
地域包括ケアシステム研修会（おおたかの森病院）実施状況報告

### ②グループワーク「切れ目のない入退院時連携の充実に向けて」

- ・現状と課題についての意見交換
- ・今後の取り組みへの提案



# 5 グループワークでの主な意見

## ①現状と課題

### 病院：連携担当者

- ・入院前から関わっていた支援者と退院に向けての情報の共有ができるとうい
- ・外来だけでは必要な情報を十分得ることが困難
- ・生活の状況を知り、入院中の支援目標にしたい
- ・退院の準備がどこまで必要かわからない
- ・どの患者をケアマネジャーに連絡したらよいのか
- ・包括にどこまで頼ってよいのか判断に迷う
- ・包括の支援を受けているか把握できるとよい

### 地域包括支援センター

- ・退院時に在宅の準備ができていない状況で調整依頼の連絡が入ることがある
- ・介護サービス等の調整のため、退院前に早めに情報共有できるとよい
- ・介護保険申請の時期が早すぎる場合がある
- ・包括に相談をつないでくれた時は事前に情報提供がほしい
- ・本人と家族の希望が違う時は早めに対応

## ②今後の取り組みへの提案

- 退院前カンファレンス・退院時共同指導等の積極的な活用
- スムーズな情報共有のタイミングや方法の整理と工夫
  - 病院連携担当者と在宅側支援者との顔の見える関係づくり
  - 連携シートやケアプランの様式等の既存ツールを有効活用
  - 外来受診時・入院前に在宅側支援者から病院連携担当者へ情報提供できる仕組みづくり

入院前から退院・在宅までの切れ目のない連携体制の構築のために

- ①MSW会議の定期的な開催と継続した協議の場づくり
- ②「在宅医療・介護多職種連携 柏モデルガイドブック」の評価・検証

